

ネイチャーセンター ガイド (89)

「なすジュース」の開発

自然塾の塾生に合宿の企画を立ててもらっていた。活動の流れや「どんなこと」をするのか話をしていた。

興穰館開校式で自己紹介をしてもらい、嫌いな食べ物もみんなに言ってもらった。「なす」が嫌いな塾生がたくさんだった。

そこで、なすをみんなに食べてもらいたいと、企画をしてきていたNに聞いてみた。

迷いなく返事があった。「なすをジュースにしよう」

わくわくしてきた。常識という枠を飛び出して、固定概念をくつがえす。この発想はたまらない。子どもの発想は無限だ。

今、なすジュースの開発を都留文科大学から来ているインターンシップ生と博物館実習生とNがやっている。

なすとパイナップル缶詰の汁との調合、なすと白桃の缶詰の汁との組み合わせ、なすとキウイフルーツとの相性、なすと牛乳とのコラボレーション、なすと蜂蜜との絡み合い。

とても飲めるものではないが、こうやって一



つ一つ探っていく動きがたまらなく好きだ。調べる楽しさや苦しさをNは今、体感している。辛抱、我慢を今、体感している。

こうした活動は今、世の中では時間の無駄と省かれる一方だ。このような時間は無駄にはならない。心育む、何十年後かに心育む、大切な行動だ。だから、やる。時間をかけてやる。

なすが嫌いな人に食べてもらいたい。気持ちとなんとかではなく、「うまい」「もう一杯!!」と賞賛されるなすジュースの開発に、ミキサーのモーターも全開モードだ。

連絡・問合せ ☎(45)6222

宝の山ふれあいの里ネイチャーセンター
開館時間：午前9時から午後4時まで
休館日：月曜日、祝祭日の翌日

伝言板

富士北麓・東部地域振興局健康福祉部(大月保健所)

特定疾患医療費助成制度 のご紹介

原因が不明で、治療法が確立していない病気をいわゆる難病といえます。そのうち、国の定めた難病(特定疾患)については、治療方法の研究を進めると同時に、患者さんの医療費の軽減を図っています。軽減措置は、病気の重傷度、所得額などにより自己負担額が異なっています。

【対象者】

膠原病、神経系などの四十
五疾患と診断された方

【申請窓口】

富士北麓・東部地域振興局
健康福祉部(大月保健所)

【手続き】

次の書類が必要です。

- ① 特定疾患医療受給者交付申請書(保健所にあります)
 - ② 医師の診断書
 - ③ 住民票
 - ④ 保険証の写し
- なお、療養生活に関する相談も行っています。

相談・問合せ 健康支援課

☎(22)7827

栄養指導のご案内

生活習慣病の発症や進行は、普段の食生活や運動・喫煙・飲酒など、生活習慣との関わりが深く、早急に生活習慣の見直しと改善が必要です。放置しておくこと、生命や生活をおびやかすことになりかねません。

自分の生活習慣を振り返り、病気の改善や進行を防ぎましょう。

保健所では、食生活などの指導を行い、病気の改善に向けたお手伝いをしています。お気軽にご相談ください。

【対象者】

高血圧・高脂血症・糖尿病・心疾患・腎臓病・肥満症など、栄養指導が必要な方とその家族。

【申込み】

主治医と相談の上、電話にて予約してください。

問合せ 長寿健康課

☎(22)7825